



星川だより

秋



熊谷空襲を忘れない市民の会 会報

特集「体験者に聞く 熊谷空襲」
戦争を知らない人々へのメッセージ
八月一日開催した講演会参加者の中から
水原文子さんと小林江梨花さんに寄稿して
いただきました。

「体験者に聞く 熊谷空襲」 の集會に参加して

水原文子



命に係わる暑さも孟蘭盆を過ぎると収まり、秋の気配を感じる八月一日「熊谷空襲を忘れない市民の会」の集會に出掛けました。
定員八〇人の緑化センターはすでに満席で立ち見の人で溢れていました。

ゲストは三人、先ずは七三年前、当時五歳だった清水昭治さん。清水さん自ら手描きの紙芝居は、子供に分かり易いようにと、まつすぐな語りで色調も柔らかく激しさは秘めた、力作でした。

戦争体験の語り部、小林留美子さんは当時一三歳の国民学校生。学校では「分裂行進」「竹槍訓練」「松根堀」に明け暮れ、千人針を縫い、慰問袋を作っても入れるものが何もなかったことなど貴重な経験が語られました。八月一四日に熊谷空襲を体験、翌一五日敗戦でした。

行田生まれ行田育ちの高城さんは当時、一六歳の一人前の軍国少年でした。その頃の日記が近年偶然発見され八月一五日の文は「夢だに想像し得ざりし事実は現実の姿となりて吾人の前に迫り来れり」とありました。将来は将校になるという目標があり、そのために一〇日後には朝霞の陸軍予科士官学校入学のはずでしたが、すべては崩れ去りました。

振り返れば戦況は真実が伝

えられず、歪曲、出鱈目、美化して語られたのでした。高城さんのお話はまだまだ話し切れないように思われ、是非次の機会にもお願いしたいと期待いたします。

あつという間に予定の時間は過ぎ五分間の休憩、質疑応答閉会となりました。

思うに日本は各地で空襲を受け、広島、長崎に原爆を落とされ、甚大な被害を被った、戦争で負けた被害国ですが、アジア諸国において身勝手な軍事力で多大な迷惑をかけた加害国でもあった事を強く認識いたしました。御三方のお話を伺い、私は戦後の学校教育でこの様な戦争の両面は学ばなかった気がいたします。

「ついこの間まで中三でした」という女子高生や、二人の高校（あるいは大学）と思われる男子学生が挙手をして質問しているのを見て、とても嬉しく、頼もしく思いました。彼等が戦争の愚かさを知り、平和の道を突き進んで行ってくれることを祈ります。この集會が有



(紙芝居を朗読する清水昭治さん)



(高城三郎さん)



(小林留美子さんと当会米田)

意義だったこと、これからも継続されることを願って止みません。

熊谷空襲を知り、そして伝える

小林江梨花

熊谷空襲を初めて知った一六の夏。初めてというと語弊がありますが、小学生の頃に地元学習で習った記憶があります。しかし、熊谷の外れの方で育ったこともあり、熊谷空襲についてのというよりは、古墳があるだけの埴輪が出土したことなどをみんなで調べました。

高校生になり、私は歴史研究会という同好会に入りました。基本的には歴史ムービーを見たり、遺跡や博物館を訪れたりします。夏休み中の宿題で論文を書くことになりました。

そして私は顧問の先生から「熊谷空襲について」と指名を受け、早速研究を始めました。これが私が熊谷空襲について知るきっかけです。

図書館で資料を読み、星川を訪れ、たくさんの方の協力があって、研究が進み、原稿の方も筆が進みました。そして論文も完成まであと少しのところ、「熊谷空襲を忘れない市民の会」主

催の講演会に出席しました。体験者の皆様から聞く話はどれも生々しく、驚き、悲しみ、辛さ、色々な感情が湧いてきました。心のどこかで「今の時代に生まれてよかった」と思い、戦争の残酷さをしみじみ感じました。

今現在、熊谷空襲について知っている若者はどれくらいいるでしょうか。自分が暮らしている街は昔、どんなことがあったのか知っておくべきだと思います。「知る」機会を与えてくれる環境が整っている今、熊谷で生きている以上は後世へと熊谷空襲を伝える責任があると思います。

私ができることは些細なことでも、後世へと伝えられるように、これからも熊谷空襲だけではなく、生まれ育った地で何が起ったのかを学び続けたいです。そして、たくさんの人へ届いて欲しいです。

小林さんは、高校一年生です。熊谷空襲のことを知り、そして伝えることが若者の責任であると述べています。私たちは、今後とも若い人たちが感心を持ち、自ら平和について考える機会を提供していきます。これが大人の責任でもあると思います。(編集部)



1945年(昭和20年)8月14日から15日にかけて、熊谷は米軍の艦隊の標的にされました。既にボツダム宣言の受諾が決まっており、15日正午には天皇の重大放送が予定されていました。

熊谷空襲から73年が経過し、その記憶は薄れつつあります。私たちは、二度と戦争の過ちを繰り返さず、平和な世界を実現するために熊谷空襲を語り継いでいきます。今回は、「体験者に聞く熊谷空襲」と、現在に残る「熊谷空襲の戦跡」をパネル展示します。

熊谷空襲を忘れない市民の会

緑化センター1階ロビーでは熊谷空襲の戦跡パネル展を行いました。

事務局からのお詫び

当日、二階会場の席数が少なく、立ち見の方などご迷惑をおかけしたことをお詫し、今後改善していきたいと思っております。



～ カンパのお願い ～

熊谷空襲を忘れない市民の会では、広く活動費用を募るため口座を開設しました。ご協力のほどよろしくお願いいたします。なお、会計報告はこの紙面により行います。

ゆうちょ銀行

口座記号・記号: 00100-7-265321

加入者名: 熊谷空襲を忘れない市民の会
口座名称カナ: クマガヤクウシュウヨワス
レナイシミンカイ

他行からの振り込みの場合は

店名(店番): 〇一九店(019)

預金種目: 当座

口座番号: 0265321

会計報告(2018/06/29~2018/09/12)

収入: 86,610円

支出: 32,453円

残高: 128,689円

編集担当者を募集します。

編集委員 吉田庄一 米田主美

連絡先 吉田庄一(090-4957-9181)

メール imajn241@gmail.com

9条の会・市民講演会
天気予報は平和のシンボル
講師 理学博士 増田善信さん
11月10日(土) 14:00~16:00
熊谷市荒川公民館 研修室
観覧料 500円
主催 9条の会・熊谷
後援 熊谷市教育委員会

増田善信さん
講演会
「天気予報は平和のシンボル」
11月10日(土)
14:00~16:00
荒川公民館
主催 9条の会・熊谷

熊谷平和市民連絡会の街宣予定日

- 9月30日(日) 11:00~12:00 八木橋百貨店西側
- 10月25日(木) 18:00~19:00 熊谷駅北口
- 11月27日(火) 18:00~19:00 熊谷駅北口

熊谷平和講座
「外交と平和」
戦後日本の外交政策(対米・アジア・ロシア・EU)を検証する。

熊谷空襲を忘れない市民の会では、毎月一回、加藤一夫さんを講師に平和について学んでいます。今回はその3回目になります。どなたでも参加できます。

過去の講座(最近6回)
第3回 日本の安全保障体制と平和 第8回 空襲の歴史とその被災者
第4回 核の傘と平和 第7回 「戦時」と「終戦」: 日、15の神話
第5回 原爆事件と平和 第8回 核兵器禁止条約: 成立過程、課題、展望

日時: 10月14日(日) 13時半~15時
場所: 熊谷市市民活動支援センター 会議室
熊谷市曙町5-67(熊谷駅徒歩約10分)

講師: 加藤一夫さん
熊谷市在住、元静岡福祉大学学長、名誉教授。熊谷空襲を忘れない市民の会顧問。

参加費: 無料(カンパ歓迎)